

## 議連に共同提案書提出

### 議員立法の実現めざす

日事連



日本建築士事務所協会（三栖邦博会長）は6日、東京・千代田区の自由民主党本部で建築設計議員連盟（額賀福志郎会長）の総会に日本建築士会連合会（三井所清会長）と日本建築家協会（芦原太郎会長）と共にまとめた「建築物の設計・工事監理の業の適正化および建築主等への情報開示の充実に関する共同提案」を提出了。総会の冒頭、挨拶に立った額賀会長〔写真〕は「建築の業の適正化に向けて総会で検討していく」と述べた。今回建築士会の共同提案をもとに勉強会で検討していきたいと思う。建築士界の発展のために議員立法で実現させたい」と述べた。

この後、三栖会長が提案の趣旨および提案事項の説明を行った。議員からは「建築士の統一的な規制を設け、建築士事務所の法人化を進めるべき」「建築設計で引き起こされたトラブルを弁護士や裁判所が介在することなく解決へと導くルール作りをしていきたい」「丸投げについて抜本的に禁止していく措置を設けるべき」などの意見が寄せられた。建築議員連盟では、議員立法の提出に向けて年明けの1月以降に勉強会を実施していくことを明らかにした。

2013.12.9 建設産業